

平成29年 年末訓示

平成29年の仕事納めにあたり、一言申し上げたいと思います。

この一年間、職員の皆さん、大変ご苦労様でございました。

今年を振り返ってみますと、選挙が続いた年ではなかったかと思えます。村長選挙、知事選挙は予定されておりましたが、衆議院が解散され総選挙も行われませんでした。国政においては、自公政権が引き続き安定した政権を維持することになりましたが、県政においては、24年ぶりに知事が変わる事となり、大きな変革を迎えました。一方、本村においては、私自身が2期目を迎えることになり、決意を新たにして、持続可能なまちづくりの実現に向けた取組を進めているところであります。

なお、選挙事務は多忙を極めたのではないかと思います。しっかりと執行出来たのは、携わった多くの職員の皆さんの日頃からの努力の賜物ではないかと感じております。大変ご苦労様でした。

一方、海外に目を向けてみると、北朝鮮の脅威が世界に緊張感を生じさせ、後に不安な影を落としています。日本にとっても、憂慮すべき事態が継続されており、国際的な協調関係を維持しながら、この問題に対応していかなければなりません。トランプ大統領の「アメリカンファースト」をはじめとして各国が自国第一主義に陥ると、国際協調主義がいつの間にか追いやられ、世界の秩序が守られなくなるのではないかと危惧しているところであり、こうした中で日本が今後どのような役割を果たしていくべきか、冷静に考えていかなければならないとも感じているところであります。

さて、今年の村での大きな出来事としては、3月に行われた吉村真晴選手への村民栄誉賞授賞式ではないでしょうか。昨年のリオ五輪で卓球男子団体銀メダル獲得という快挙を成し遂げ、来村を心待ちにしておりましたが、母校である白方小学校の全校児童の前で授与できて本当に良かったと思えました。その後は8月にも報告会として村民との交流も行うことが出来ました。今後とも村をあげて応援していきたいと考えております。

役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。

今年度の重点施策でもありました「とうかい版ネウボラ」については、4月に保健センター内に「はぐくみ」という子育て世代包括支援センターを開設することができました。妊娠期から子育て期までのワンストップサービスの拠点として今後とも支援の充実を図って参りたいと考えております。保健師の皆さん

をはじめとして担当課の努力に感謝しつつ、今後の更なる活躍を期待しています。子育て支援につきましては、待機児童の解消や病児・病後児保育の整備など課題やニーズも多いことから、関係機関が連携しながら対応していく必要がありますので、全庁的に取り組んで参りましょう。

また、障害者やその家族を支援するために、なごみ内に「なないろ」というフリースペースも整備することができました。担当課職員の手作りで部屋の改修作業も行われ、暖かみのある素敵な拠点施設が誕生しました。引き続き、関係職員の皆さんにはサポートをお願いします。

商工関係では、今年は、2年振りにプレミアム付き商品券を発行し、消費喚起と村内商業の活性化を図るとともに、国体等を見据えて店舗改修への助成制度を創設するなど地域経済活性化の支援も着実に行うことが出来ました。やはり、地域に経済的な循環を作り出すことで活気が生まれ、まちが元気になると確信しています。担当課の皆さんには、これからも積極的な取り組みを期待しています。

農業関係では、生産振興から人材育成まで幅広い課題に的確に対応できているのではないかと感じております。さらに、農地の問題については、優良農地の保全対策もスタートしたところであり、担当課の皆さんの真摯な取り組みを評価したいと思います。若い農業者も頑張っていますので、私達も負けないよう、しっかりと本村の農業を支えていきましょう。

基盤整備等ハード面においては、阿漕ヶ浦公園の整備や東海駅西口の再整備等が順調に進められています。来年は、国体のプレ大会開催が控えており、環境整備を計画どおりに完成させ、ソフト面の対応にも力を入れていかなければなりません。全庁あげて取り組んでまいりましょう。

原子力関連業務においては、広域避難訓練を実施しました。関係機関との事前調整から当日の訓練、その後の評価分析を含め、他の自治体でも行っていない取り組みが実現出来ました。新たな課題等も見つかり、大きな成果があったと感じています。大変ご苦勞様でした。今後とも、広域避難計画の実効性を高められるよう努力して参りましょう。加えて、安全協定見直しに係る調整も難しい課題ではありましたが、概ね方向性が見えて参りました。大変センシティブな問題でもありましたので、改めて担当者の皆さんの努力に感謝したいと思います。

今年、一番苦勞したのは、「(仮称)歴史と未来の交流館」整備事業ではなかったでしょうか。3月議会で付帯決議を受けてから、村民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に進めて参りましたが、先の12月議会で実施設計への着手が認められ、一歩先へ進むことが出来ました。本当に担当課の皆さん、ご苦勞様でした。しかしながら、まだ課題も残っておりますので、引き続き気を引き締めながら頑張ってください。そして、村民の皆様にご造って良かったと思ってもらえるような

施設整備に努めてまいりましょう。

これら以外にも、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話することはできませんが、全体としては、着実に事業を推進できたものと感じております。ご苦労様でした。

今年は、第5次行財政改革大綱において、「しごとの仕方改革」を推進しているところではありますが、やはり業務の効率化は大きな課題であると思われますので、いろいろなアイデアを実践しながら成果を出していきましょう。

年末年始の休みは6日間ですが、しっかりとリフレッシュしてください。そして、いつも申し上げておりますが、家族との団欒も是非大切にして、有意義に過ごしていただければと思います。

一方で、危機管理対応は常に意識しておいてください。災害のない穏やかな年明けを迎えたいものです。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明け4日には、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。